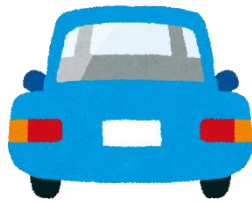


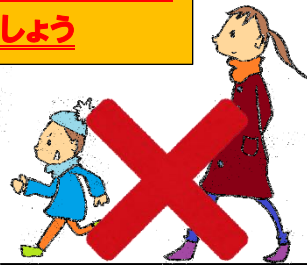
どうすればより安全か、を考える

幼児の交通事故は「ひとりでいるとき」、「保護者の目が離れたとき」に発生しています。おうちの人近くにも飛び出してしまう危険があるということをお忘れなく。周囲の状況を見て、【どうすれば、より安全か】を意識して行動してください。



車から遠い側を歩かせるのは基本です

一緒にいたとしても、その場の状況に応じて手をつなぐなどして、子どもをひとりで歩かせないようにしましょう



交通安全新聞

おうちのひとりのための

11月

10月～12月

死亡重傷者が最も多い時間帯は
午後6時から午後8時の時間帯
魔の時間帯

年末に向けて交通事故が多発する傾向があります！

夜道を歩くときは
反射材を忘れずに！

子どもの目線に気をつけて

交通安全教室で、子どもたちの様子を見ていると、下を向いて道路を歩く子がとても多いです。下を向いて道路を歩いていると、周りの様子が見えないので大変危険です。

歩くときは前を向き、周りの様子をよく見ながら歩きましょう。おうちでも教えてください。



お子さんと一緒に道路を歩く練習をしてみましょう